

第44回全国在日外国人教育研究集会・岡山大会にご参加を！

第44回全国在日外国人教育研究集会（岡山大会）

多文化共生社会実現のための教育を創造しよう

第四回全国在日外国人教育研究集会は、岡山の地で開催いたします。岡山では、二〇二一年度に全外教セミナーを開催しましたが、研究集会の開催は初となります。多くの新しい出逢いを期待しながら、準備をすすめています。

現在、世界では、新型コロナウイルスのパンデミックで停滞していた時期はあるものの、国際的な人の移動が増加し続けています。その背景は、紛争、貧困、気候変動の影響などさまざまです。その一方で、ヨーロッパやアメリカでは移民排斥を唱える人や政党が勢いを増して、分断が深まっているとも報道されています。

翻って、日本は「移民政策が存在しない」とされて久しくなります。少子高齢化が加速し、外国人労働者ではなくてはならない存在になっていくにも関わらず、日本政府は外国人を「労働力」としてのみ捉え、共に生きる隣人として受け入れようとしていません。

日本人には基本的な権利として保障されている義務教育も、外国人は適用の範囲外とされています。昨年の五月の調査で、文部科学省は、小学校や中学校などに通えていない「不就学」のおそれがある外国人の子どもの数は、全国でおよそ八六〇〇人に上ると発表しました。日本語指導を必要とする生徒の高校進学率も、地域による差が大きいという状況があります。高等学校においても、高校入試の外国人枠で定員オーバーによる不合格者が多数出ている自治体や、生徒の在留資格の把握の意味を教員が理解していなかったために、生徒の進路をとぎってしまった事例などが報告されています。

二〇一六年に「ヘイトスピーチ解消法」が施行されましたが、罰則をともなわない理念法にとどまるため、その後も日本各地で差別を煽動するデモなどは後を絶ちません。最も安全・安心であるべきはずの学校現場においても、ヘイト事件が発生し、子どもたちが深く傷ついています。神奈川県川崎市の二〇一九年に罰則付きの条例が全国に先駆けて成立し、路上でのあらゆる差別的な言動が改善されました。しかし、ネット上には差別的な言動があふれています。外国につながる子どもはそこで差別にさらされ、日本の子どもはそこで差別を学ぶというのが現状です。

私たちは、発足当初から、「在日朝鮮人（外国人）問題は、日本人の問題であり、日本人の課題だ」ということを言い続けてきました。このことを胸に留めながら、多文化共生社会実現にむけ、各現場での実践を持ち寄り、交流し、課題解決に向けた論議を深めたいと思います。みなさま、ぜひ岡山にお集まりください。なお、詳細につきましては開催要項にてお知らせいたします。



□日程・内容 《2025年》

全国在日外国人生徒交流会
8月7日（木）～8日（金）
岡山市立少年自然の家
（岡山市北区日応寺4）

開会行事・全体会

8月8日（金）
岡山国際交流センター
（岡山市北区奉還町3-3-1）
JR岡山駅から240m

分科会・閉会行事

8月9日（土）
岡山国際交流センター

□参加資料代

3,000円
（生徒交流会・フィールドワークは別途）

□参加申し込み

当日会場にて
詳しくは開催要項をごらん下さい。後日、全外教のサイトに掲載します。

<http://www.zengaikyo.org>

主催：全国在日外国人教育研究協議会 全外教岡山大会実行委員会

後援：岡山県・岡山市・岡山県教育委員会・岡山市教育委員会 他（申請予定）

連絡先：全国在日外国人教育研究協議会 e-mail: mail@zengaikyo.org